先行企画部　新技術開発室

エンジニア向け組織説明資料

TOYOTA connected

Ver 0.6

01. ABOUT 会社概要

02. BUSINESS 組織概要・プロジェクト

03. RECRUIT 制度・募集要項

04. FAQ 質問

01

ABOUT

会社概要

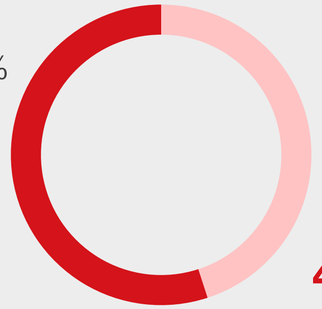
数字で見るトヨタコネクティッド

社員人数

1,286 人

社員の男女比

男性
55 %



女性
45 %

平均年齢

41 歳

月の平均残業

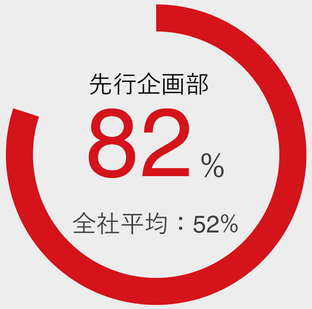
約 18 時間

※全社平均。
先行企画部ではこれを下回る。

平均勤続年数

8 年

リモート率



平均有給取得日数

14 日

育休取得率

（2024年時点のデータ）

オフィス環境

先行企画部 新技術開発室では、フリーアドレス制を導入しています

名古屋本社

GLIP（東京オフィス）

02

BUSINESS

組織概要・プロジェクト

新技術開発室のミッション

技術の力で5年後、10年後の社会にソリューションとイノベーションを創り出す

トヨタコネクティッドの中で先端技術を活用して新規事業開発を行う部署が「先行企画部」ですが、その先行企画部の背骨となる技術者集団こそが「新技術開発室」です。

個々人がプロであるという自覚のもと、社会課題を解決する新ビジネス推進のための試験研究・技術開発などを行います。

たしかな実績とスピード感を軸に、技術発信の新しい事業の「タネ」を育て、社会課題を解決し、人々の暮らしに貢献できるソリューションとイノベーションを創り出します。

業務内容

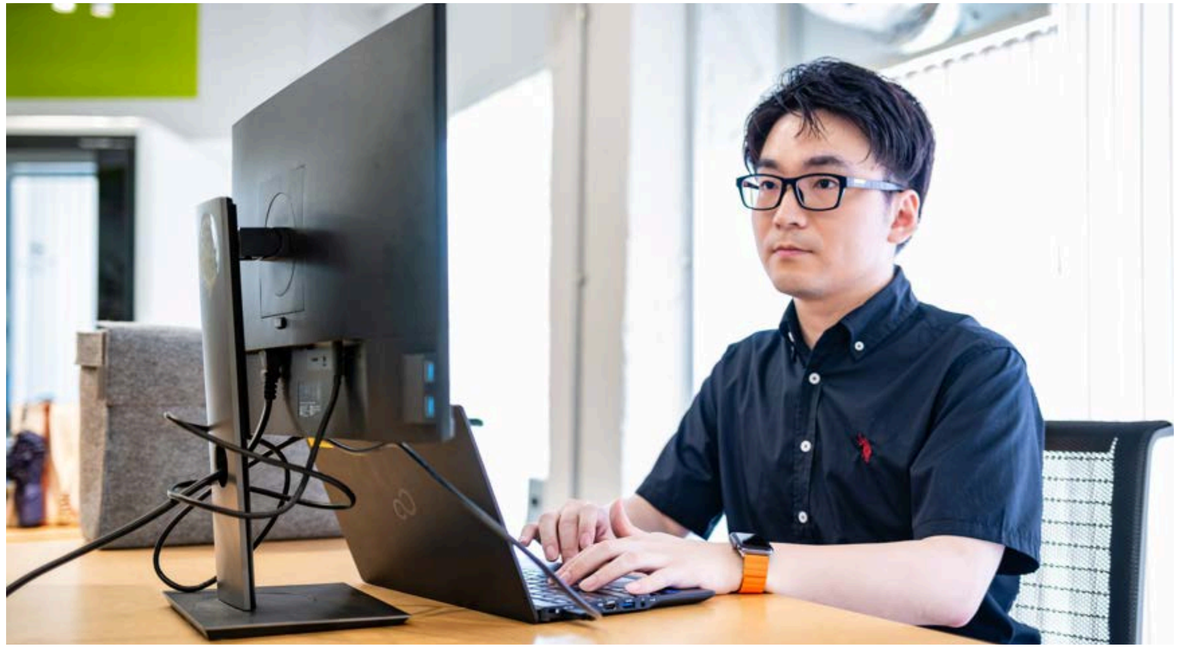
新技術開発室は、自社事業創出に向けた研究開発と、トヨタグループ内外からの受託案件の2本柱で部を運営しています。

試験研究（新規事業開発）

事業領域は、MaaSやメタバースなどテーマは多岐に渡りますが、いずれも社会課題の本質的な解決を目指すことをコンセプトに掲げています。
アイディエーションに始まり、実証実験でのプロダクト設計、社会実装工程での要件定義、設計開発までを一貫して自社で担います。

受託案件

顧客要件やソフトウェア仕様の具体化、設計、開発、DevOps等の開発に関わる業務を全て行います。
トヨタグループというバックボーンで、自分たちの手掛けたものがより多くのユーザーに届く「規模感」が魅力的です。



開発事例

試験研究 開発事例①

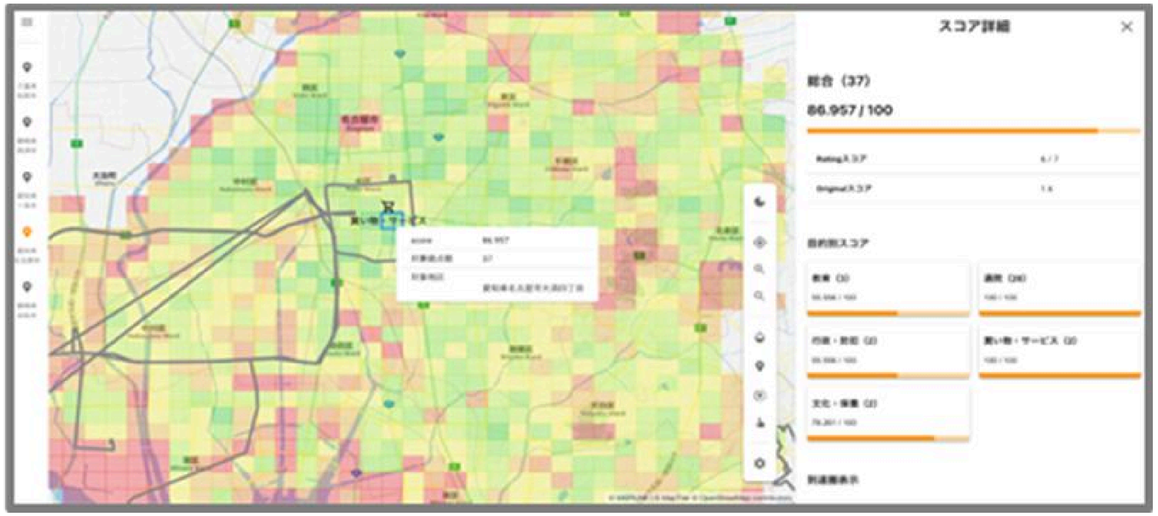
物流業界における配送量の増加や人員不足などの課題解決に取り組むプロジェクト。大手配送業者の業務課題を調査の上、配送ルート効率化に特化した配達アプリ開発を進行中。
また、スマートウォッチを活用したドライバーの身体負荷予測ソリューションを開発、PoC実施(*)

*23年度で実証実験完了

※画像はイメージです

試験研究 開発事例②

生活上の移動困難者や公共交通空白地域の課題解決に取り組むプロジェクト。生活に必要な拠点に関するデータ （役所や病院、スーパーなどの情報）と空間解析技術を掛け合わせ、拠点へのアクセシビリティに関する課題の可視化や施策効果のシミュレーションを行えるツールを開発中。中長期的な高齢化対策や、自治体における交通施策の計画・検証におけるコスト削減に貢献する。



※画像はイメージです

03

RECRUIT

制度・募集要項

求人概要

詳細は採用ページにてご確認ください

職種	先行企画部 テックリード、先行企画部 ソフトウェアエンジニア（リーダー）
配属先	戦略本部 先行企画部 新技術開発G
給与	月給343,000円～ ※残業・手当含まず 諸手当：役職手当、家族手当、通勤手当、時間外手当 など 賞与：年2回（7月、12月）※前年度賞与実績6.2か月分　昇給：年1回（会社の業績による）
勤務地	名古屋本社・GLIP（東京オフィス）
休日	完全週休2日制　年間休暇121日、年次有給休暇：初年度11日 ※初年度は入社月によって異なる 年末年始、慶弔休暇、特別休暇
福利厚生	各種社会保険完備（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険）、出産・育児休暇・育児短時間勤務、 TC café / カフェテリアプラン（90,000ポイント/年）、G-Link / T-Connect購入補助（最大10万円）等
雇用形態	正社員 ※テックリードのみ、契約社員（Z職）での採用可能性有り（入社後、正社員化も可能）

技術スタック

サービスの開発環境・言語は会社から指定・限定しておらず下記は一例です。プロジェクト毎に最適な手段をエンジニア自らが選択することを期待しています。

開発言語

TS
Java ORACLE
Swift
python
node JS
Kotlin
Flutter

クラウド

powered by aws

データベース

MySQL
PostgreSQL

ツール系

OpenAI
twilio
Jira
git

会社支給PCの種類

希望に応じてWindows、Macから選択可能。メモリの増設など個別で柔軟に対応しています。

働きやすい職場作り

フレックスタイム制度

- コアタイムあり（12：45〜15：15）

リモートワーク活用

- ハイブリッドワーク支援手当あり

オフィスの環境整備

- 名古屋、東京の2拠点オフィス
- 先行企画部 新技術開発室は全ての拠点でフリーアドレス制導入

関連手当について

①ハイブリッドワーク支援手当

月4,000円を全社員に支給。

②リモートワーク準備金

入社後最初の賞与の際に50,000円のリモートワーク準備金を支給。使い方は限定しておらず、ゲーミングチェアなどを購入したり個人によって様々です。

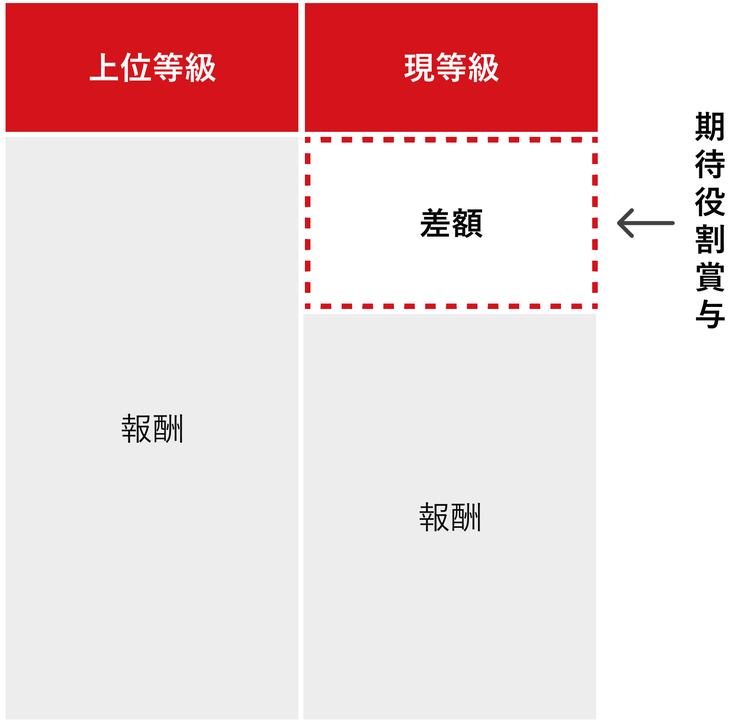
人事制度

役割等級制度

等級		専門性	問題解決	他者の巻き込み	組織人材の育成・活用
A0	テックリード	知識の幅 × 深さ	複雑性 × 革新	対象 × 難易度	人格要素 × 人材育成・組織活性化
A1	テックリード				
A2	テックリード				
A3	テックリード				
B1	リーダー				
B2	リーダー				
B3	メンバー				
B4	メンバー				

社員1人ひとりに階層に応じた「役割」を付与し、その役割を十分に果たすことを目標にし、その達成度を半期に1度評価する制度

等級・年次制度に関わらず上位役割に任用できる制度



現等級より上位の役割を付与した場合、差額分を期待役割賞与で支給。役割の大きさに見合った処遇を実現できる柔軟な制度

等級と想定年収

※想定年収は前年度賞与実績6.2カ月で試算しています。B等級については、＋残業18H含んだ金額です。

等級	役職	想定年収
A0	管理監督者 テックリード マネージャー	1,450万円 ～
A1		1,390 ～ 1,449万円
A2		1,130 ～ 1,190万円
A3		1,020 ～ 1,080万円
B1	リーダー	770 ～ 860万円
B2		680 ～ 760万円
B3	メンバー	580 ～ 640万円
B4		420 ～ 510万円

選考プロセス

期待する職務・等級によって面接回数が異なります

A等級／Z職
・管理監督者
・テックリード

B等級
・リーダー
・メンバー

採用サイトから応募
※履歴書・職務経歴書をご準備ください
まずは現場メンバーとの会話をご希望の方は
カジュアル面談からお申し込みください

書類選考

現場面接

一次面接

適正テスト

最終面接

内定（オファー面談）

ご応募お待ちしています

QRコードを読み込むか、詳細ページへのリンクからご覧ください

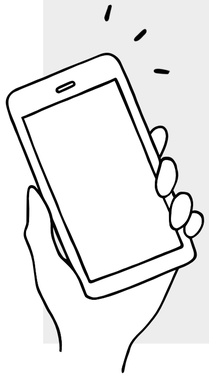
求人情報（募集職種一覧）

テックリード

詳細はこちら

リーダー

詳細はこちら



カジュアル面談窓口

詳細はこちら

コーポレートサイト

詳細はこちら

先行企画部サイト

詳細はこちら

FAQ

質問

選考

Q 選考時にテストはありますか？

A 現場面接でカルチャーフィットの確認を実施したあと、1次面接と合わせてSPIの受験をお願いしております。

Q 過去に不採用となったが、再応募可能か？

A 再応募可能です。
ただし、前回の応募から期間が空いていない場合はマッチングできない可能性が高いです。前回応募からの成長や研鑽などがわかるようにご応募頂けると幸いです。

Q 選考の際、服装や持ち物に指定はあるか？

A オフィスカジュアルでご参加ください。持参物は特にありません。

Q 応募～内定までどれくらい時間がかかる？

A 1ヶ月程度お時間を頂きます。
ただし、面接官のスケジュールや日程調整の都合によって期間は前後いたします。もしお急ぎの事情等がある場合は早めにご相談下さい。

働き方

Q 海外への出張はありますか？

A 発生する可能性はありますが、頻繁ではありません。

Q 地方からリモート勤務の場合、名古屋本社への出張頻度は？

A 特に規定があるわけではありませんが、月1回以下程度が想定されます。基本的には業務上の必要に応じての判断となり、強制はありません。

Q 転勤はありますか？

A 新技術開発室で転勤は想定していません。

Q 海外拠点と一緒に仕事をしますか？

A トヨタコネクティッドは日本以外に、アメリカ・イギリス・中国・タイ・インドにも拠点がある為、可能性はあります。

Q リモートワーク勤務によるコミュニケーション不足について何か対策はしているか？

A 正直に申し上げて、まだ対策の途中です。先行企画部では昨年、アイディエーションとオフライン交流を目的とした企画をGLIP（東京拠点）で開催しました。

Q オンボーディング中は出社は必須ですか？

A 入社初日の出社は必須でお願いしております。他オンボーディング中のイベントやチームビルディングなどのために出社をお願いすることがありますが、必ずしも出社が必須ではありません。